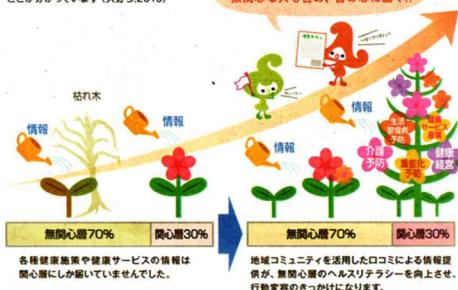


大切な人への口コミで皆の心に花を咲かせる活動です

国民の7割は健康づくりに無関心である  
ことが分かっています(久野ら 2010)



<sup>66</sup>スマートウェルネスコミュニティの目指すところ

# 人生100年時代の 健康管 理



【プロフィル】広島県生まれ。1976年広島大学医学部卒業後、聖路加国際病院内科勤務。99年東京医科大学循環器内科主任教授。2020年5月から現職。総合内科専門医、日本循環器学会専門医、前日本循環器疾患学会理事長

認知や理解は広まって ではあります。  
も 行動変容を起こす 地域あるいは社会が  
ことは難しいことを紹 協力して行動変容を促進

活動が必要です。そういった視点から、官民連携で課題解決する組織としてスマートウェルネス協議会(SWCA)が、健康新規協議会(SWC協議会)は、健 康への無関心層を平減させることを目標とし、さまざまな会話を て行っていますが、その大きな柱の一つが 健康けんこうアバ

サダーの育成です。 健康アンバサダーは、健康に関する正しい知識などを身近な人に「口々で伝える」康の伝道師です。牛のなかで家族や近所の人、職場の人などに、康情報を「心に届く」報として「伝へ、健康づくりの輪を広げて」いきます。健健康アンバサダーにならる方なら、多少の手がかりになります。は学校や人々格は必要なく、健康と幸福に関心がある方なら、多少の手がかりになります。

料は必要ですが、講習会で「エフェクティーブマーケティング」を学んで、確実にアートに対する理解を深めています。これは誰もがなります。2002年5月末までに、万5000人の健保会員が、日本最大のバサード、「全国健康生活フェスティバル」に参画しています。このフェスティバルは、コロナ禍で遅れていますが、目標は200万人であります。また、あなたも健保アーティストとして、さまざまなアーティストと一緒にアートを楽しむことができます。

◆毎月曜連載 桐生大学・桐生大学短期大学部副学長の山川章さんは、同大学医療保健学部の学生などに講義も開講している。

保健・福利

◆毎月曜連載 桐生大学・桐生大学短期大学部副学長の山川章さんは、同大学医療保健学部の学生などに講義も開講している。